



平成30年11月28日 発行

第51号

# 志布志市議会だより



## 9月 定例会

一般会計補正予算	3
田之浦四浦消防分団詰所整備	4
13議員が一般質問	7
所掌事務調査報告	20

# 9月定例会

## 平成30年 第3回定例会

平成30年9月定例会を9月11日から9月28日までの18日間開きました。

一般会計・特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道管理・国民宿舎・工業団地整備事業）の補正予算など議案13件を審査しました。

一般会計補正予算は2億3009万円を追加し、総額で246億9832万4000円となり、そのほか、「志布志市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例」や「志布志市営墓地条例」の一部改正を始め、原案のとおり可決しました。

一般質問は13人の議員が防災・減災対策、観光行政、福祉行政などについてたどしました。



災害による危険箇所

**A** 6月19日から22日及び7月6日から7日の梅雨前線豪雨、7月2日から3日の台風7号に伴い、耕地林務水産課分については49か所、建設課分については31か所、それぞれ復旧作業を行った。

**Q** 6月から7月にかけて行った梅雨前線豪雨災害復旧に伴い、何か所の復旧作業を行ったのか。

災害復旧作業箇所は

一般会計補正予算  
(第3号)

各委員会での  
質疑応答は4頁から

本会議での質疑応答

**A** 今回行った事業については、応急対応として、市単独において取り組んだものであり、国の補助金等は適用できない。適用できる国・県の補助金等注視し、活用していきたい。

**Q** 各小学校ブロック積撤去等改修事業において、国からの補助金等はないのか。

国の補助金はないのか



小学校ブロック塀危険箇所

**A** 受益者負担については、当初の1反当たり5万円のままで、変更はない。

**Q** 今回の変更に伴い、概算事業費が大幅に増額されているが、受益者負担も増えるのか。

受益者負担に

変更はないか

土地改良事業の変更

**A** 平成28・29年度にかけ、現地調査を行い、これまで所有していた資料とを照合作業中であり、正確な承継者把握に努めている。できるだけ早く台帳を整備したい。

**Q** 市営墓地を管理していく上において、承継者等の把握等のため、早急に台帳を整備すべきではないか。

墓地会員名簿台帳整備を

市営墓地条例の  
一部を改正

# 一般会計

## 9月補正予算

# 2億3009万円を追加

一般会計の補正予算は田之浦四浦分団詰所の新築工事業など、合計で2億3009万円を追加し、予算総額は246億9832万4000円となりました。

### 田之浦四浦分団詰所整備事業 3000万円

非常時の確実な出動及び消化体制の充実を図るため、老朽化した消防団詰所を移転新築します。

### 各小中学校普通教室空調機整備事業 1168万円

児童・生徒がより良い教育環境で学習できるよう、普通教室への空調機整備について調査します。

### 産地パワーアップ事業（茶振興対策） 1142万円

近年、海外で需要の高い抹茶の原料である「てん茶」の生産用被覆資材を導入し、産地の活性化を図ります。

### 地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業 1623万円

リサイクルの推進及び最終処分場の長寿命化を図るため、一般ごみを再分別し固形燃料化できないか、可能性調査を行います。

### 農業用施設災害復旧事業 5090万円

梅雨前線豪雨により被災した、農地及び農業用施設復旧のための工事を実施します。

### 危険廃屋解体撤去事業 350万円

市内に点在する危険廃屋（住宅・付属家）を撤去し、安心・安全なまちづくりを目指します。

#### 他市町からの行政視察

10月9日（火）  
愛知県東海・知多市議会  
・環境政策について

11月13日（火）  
兵庫県洲本市議会  
・ふるさと納税について

11月15日（木）  
岩手県・関市議会  
・環境政策について

#### 人権擁護委員の推薦について

山本 力氏  
（松山町新橋）

本年度12月31日をもって任期満了を迎える山本氏を引き続き人権擁護委員に推薦したい旨の提案があり、適任と決定しました。



「蜘蛛の糸」公演のようす①②

9月12日（水）議事堂内におきまして、芥川龍之介原作の短編小説「蜘蛛の糸」の100周年を記念し、ボランティアグループ「かみふうせん」代表、山元一彦さんによる「蜘蛛の糸」パネルシアターが開催されました。

「蜘蛛の糸」パネルシアター開催

登録はこちらの二次元バーコードから

カンタン操作で いつでもどこでも 市報しぶしが読める。

## マチイロ

無料スマホアプリ「マチイロ」は、右の二次元バーコードからダウンロードしてご利用ください。

■マチイロに関する問い合わせ先：株式会社ホープ TEL: 092-716-1404

マチイロ

マチを好きになるアプリ

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん！

- 自治体ごとの最新情報
- 自治体ごとの魅力
- 自治体ごとの魅力

ダウンロードはこちらから

議会だよりが、携帯アプリ「マチイロ」で読めるようになりました。

# 田之浦四浦消防分団詰所整備

## 総務委員会

志布志市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正

地域再生法の一部改正に伴うもので、本社機能の東京一極集中を是正するために、移転型事業の固定資産税の特別措置に課税免除が新たに追加された。

**Q** 今回の条例改正により、事業所等から問い合わせがあったのか。  
**A** 今のところ、まだ問い合わせはない。

### 一般会計補正予算(第4号)

(財務課)

**Q** 本庁別館空調設備が故障し、応急的な修繕を実施したが、解決に至っていないとはどのような状況なのか。

**A** 今年6月実施の定期保守点検により、屋内配管にフロンガスの漏れが確認され、別館1階の室外機4基のうち3基の基盤が故障した。耐用年数も超過していることから設備更新工事を実施したい。

**Q** 今回購入する公有財産は、第2次大戦時の通信指令所を含む防空壕跡施設とのことだが、所在地はどこか。また、取得後の管理は。

**A** 所在地は志布志町安隣接地で、取得後は文化財保護のため、行政財産として教育委員会が管理する。

(税務課)

**Q** 今回、法人による確定申告に伴い、法人市民税の減額による還付金が発生し、予算の増額補正に至っているが、今後同様の事由により、補正の必要性が発生するのか。

**A** 今回の補正予算で対応可能であるものとは判断しているが、法人市民税に限らず、他の税目においても、いついかなる理由で還付金が発生するかは予測できない。よって、再度増額補正を計上する可能性は否定できない。

(総務課)

**Q** 田之浦四浦分団詰所整備事業において、新築工事にあたり、300万円の補正予算が計上されているが、金額は概ね見込みどおりであったのか。

**A** 直近で整備した安楽分団詰所の実績と比較すれば、概ね見込みどおりの金額である。



老朽化した田之浦四浦分団詰所

**Q** 県道日南志布志線道路改良に伴う消火栓設置場所及び形状は。

**A** 設置場所は福島渡地区になり、現在ある防火水槽を撤去し新たな消火栓を設置する。設置箇所は県道歩道内で、地上高80cm程度になる。

(企画政策課)

**Q** ブランド推進事業の志布志夏そば事業において、そば生産組合の自立に向け取り組んでいることだが、何年ぐらいを目途に考えているか。

**A** 一部ではあるが、転作に係る直接支払交付金制度も活用している。さらに、組合と連携を図り生産性の向上を目指し、市内経済効果を高めつつ、3年を目途に自立へ向け進めていきたい。

**Q** 市内外において夏そばの知名度は向上し、PR効果・経済効果が見られる。関係課とも連携し、今後も志布志市の食文化の発信として力を注ぐべきではないか。

**A** 事業を開始し10年が経過した。イベント的なPR方法については事業の見直しを行い、生産性の向上を図る。周知活動においても業界団体や関係課、観光特産品協会、各種メディアとも連携しながら取り組んでいく。

(港湾商工課)

**Q** 地域経済循環創造事業については、商工会とも連携し、幅広く周知を行うべきではないか。

**A** 事業の周知については、不公平感を与えないよう、特に商工会との連携・情報共有が不可欠である。あらゆる機会を通じて、商工会会員をはじめ、多くの事業者へ情報が行き渡るよう体制を整える。

### 工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)

**Q** 臨海工業団地4工区については、用地交渉難航により規模縮小計画とのことだが、今後、用地買収の再交渉など行わないのか。

**A** 用地交渉を行う土地開発公社とも連携を図り、交渉が成立した場合は工業団地として整備する。

# 教育環境の整備 空調機設置の実設計費議決

## 文教厚生委員会



市営墓地の現状

志布志市営墓地条例の  
一部改正

(市民環境課)

**Q** 管理がされない放置墓への対応を条例で規定しているか。また、墓地使用者間の更新手続き等の公平性は担保されるのか。

**A** 具体的な条文はないが、使用者の戸籍等により特定し、条例に従い原形に復した返還をお願いする。使用者が特定できない場合は、官報での改葬公告等を経て、申し出がなければ行政により処理できる。放置墓の使用特定には相当の年数・時間を要すると思われるため、平成33年度中の全ての許可更新は難しいと考えているが、早期の特定に努めていく。

一般会計補正予算  
(第4号)

(教育総務課)

**Q** 小中学校の空調機整備事業について、設置対象となる教室数は。

**A** 市内21校の全ての学校を対象とし、教室については、特別支援教室を含めた153の普通教室の全てを想定している。

**Q** 普通教室の少ない小規模校の事業費については、補助対象の下限値400万円を超えないののではないか。

**A** 概算ではあるが、最も少額と見込まれる学校でも、925万円程度と試算しており、下限値400万円を下回ることはないと見込んでいる。

(学校教育課)

**Q** 教育振興費の大会等出場補助金が30万6000円増額された要因は。

**A** 各競技の大会への出場に対する補助金については、当初で135万円を計上していたが、志布志中剣道部が男女ともに全国大会に出場することになった

時点で、既定予算が不足し、予算流用により対応した。今後、駅伝競技等で県大会出場が見込まれることが要因である。

(市民環境課)

**Q** 地域循環型・エコタウン低炭素化促進事業による最終処分場の延命化はどの程度か。

**A** 最終処分場の延命化については、昨年度の調査結果で59年間と試算している。今後、紙おむつを除外することで試算される13年間を合わせた72年間の搬入が可能と見込んでいる。

(保健課)

**Q** 子育て世代包括支援センター事業で、嘱託職員として採用する助産師の報酬は、計上された金額で大丈夫か。

**A** 今回、計上した報酬等の条件での就業が可能で、な助産師が見つかったため、10月からの就業にかかる報酬を計上した。1か月の報酬額は、保健師・管理栄養士と同額の18万2000円に通勤手当を加算した額となり、一般の事務職の嘱託職員報酬額より高く設定し

てある。

国民健康保険特別会計  
補正予算(第1号)

**Q** 2億円以上の繰越金となつた要因は。

**A** 平成29年度の一人当たりの医療費については、平成28年度と比較して概算で0.71%、金額で3868円減となったこと、前期高齢者の交付金が増加したことが要因と認識している。

後期高齢者医療特別会計  
補正予算(第1号)

**Q** 一般管理費について、事務機器借上料2万1000円が計上された理由は。

**A** 今回、計上した事務機器は、広域連合の電算処理システムの更新に伴うものであり、運用が開始される平成31年3月の1か月分の借上料である。スケールメリットを生かすため、県内市町村の必要台数を広域連合が共同購入した。各市町村の月額使用料確定に伴う補正である。

介護保険特別会計  
補正予算(第2号)

**Q** 公用車に係る費用が計上されているが、特別会計で管理すべき公用車を保有しているのか。

**A** 公用車については一般会計で購入しているが、介護保険事業での支出も可能であるため、関連業務で使用する公用車の管理費等は、一般会計と総合相談事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業で按分し、支出している。

下水道管理特別会計  
補正予算(第1号)

**Q** 一般会計繰入金を減らすための取り組みは。

**A** 使用料の徴収率向上に向けた1週間に5件以上の訪問徴収、接続促進に向けた事業者との連携を図っている。

# 危険廃屋解体撤去補助を増額

## 産業建設委員会

土地改良事業の  
変更について

平成26年度に新規採択された土地改良事業で現在整備中の、団体宮中山間地域総合整備事業有明地区について、当初計画から、受益面積・区画整理・農業用排水路・施工年度・概算事業費を変更し、平成33年度の完成を目指す。

**Q** 農業用排水路の延長が増える理由は、

**A** 当初計画の段階ではある程度の現地確認や、地形図等を用いて設計する。事業採択後に現地の詳細測量を行った結果、変更となったものや、当初計画では



山重柳井谷団地の現地調査

用排水路が入っていない部分に、現地調査の結果、整備の必要性が生じたことなどにより、用排水路の延長を増やすものである。

**Q** 受益面積は17haから16.6haに減少しているが、逆に区画整理の面積は11haから12.2haに増えている理由は、

**A** 受益面積とは道路、水路、法面等を含む土地改良事業計画内の全ての面積を指す。区画整理とは、実際に耕作する面積を指す。受益面積については詳細測量の結果で0.4haの減となっている。区画整理の面積については当初の設計段階で考えていた道路、水路、ほ場の位置や高さ、法面などから、なるべく耕作面積を多く取ろうとして設計し1.2ha程度の増になったものである。

一般会計補正予算  
(第4号)

(農政畜産課)

**Q** 海外での需要が高く、抹茶の原料となる\*碾茶(てんちゃ)用の被覆資材の導入費を補助するため、

産地パワーアップ事業(茶振興対策)が増額して計上されているが、それぞれの茶農家が所有する茶園の全体面積と、今回の碾茶の受益面積は、

**A** 約41haの茶園のうち碾茶2.88haの計画と、約20haのうち5.78haの計画の2者分である。

**Q** 現在碾茶はどの程度輸出されているのか。

**A** 直接輸出と商社等による間接輸出があり把握は難しいが、せん茶や碾茶など、平成29年度で約260tを輸出している。

**Q** 今後、この事業に手を挙げる予定の事業者がいるのか。

**A** 来年度以降、有明地区で玉露1件の計画がある。

(建設課)

**Q** 市単独道路維持事業の高尾地区流末排水工事は、公共土木施設災害復旧事業として、補助事業の対象にはならないのか。

**A** 通常、公共土木施設災害復旧事業の対象になるのは道路・河川であり、



高尾地区の被災状況

前回平成27年度に被災した時も、宅地造成した所の流末排水であるため補助対象にはならず、今回も同様の取り扱いとなっている。

**Q** 今回の危険廃屋解体撤去が対応可能なのか。

**A** 今年度は、既に住宅21棟、付属家23棟の解体撤去を助成している。今回の増額でさらに住宅10棟、付属家3棟分が対応可能と積算している。解体撤去には、計画から完了まで4〜6か月かかるため、11月以降に問い合わせがあった場合、来年度の申請を案内することになる。

(耕地林務水産課)

**Q** 特用林産物(枝物)振興事業のうち、消費拡

大推進事業の対象者とは、

**A** 消費拡大推進事業については2つの推進方法を計画しており、給食センターに県産原木しいたけを提供し給食で利用してもらうものと、潤ヶ野小学校でしいたけの菌の駒打ち体験を予定している。

**Q** 農道維持事業で予定されている土地改良事業の場所はどこか。また、この事業が必要な場所はまだまだにもあるのか。

**A** 新橋2地区、泰野6地区の水田について、暗きよ排水工を予定している。県宮中山間総合整備事業で水はけの悪い湿田にネットロパイプを敷設したものが、少しずつ目詰まりを起こしているのを更新する事業である。経年により排水が悪くなる所は今後も出てくると想定している。

\*碾茶(てんちゃ)  
蒸し製緑茶の一種。覆いをして育てた茶樹の若芽を蒸して、揉まずに乾燥させたお茶で抹茶の原料となる。



小野 議員



▶ 動画視聴

# 防災・減災対策を急げ

## ▶ スピード感を持って対策を図る



西日本豪雨災害被災現場

**小野広嗣議員** 昨年9月定例会で、九州北部豪雨災害後の我が地域の認識と対応について質問を行い、提案も行った。その後の取り組みの現状と今回の平成30年7月豪雨災害後の防災・減災対策の在り方について問う。

市長 特に今年は豪雨災害・台風災害・地震災害と例年になく甚大な被害を及ぼす災害が多発している。本市は、これらの災害に加え、沿岸部では津波災害・高潮による災害の危険性もある。対策は、まだ行き届いていない部分もあると感じている。考えられる対策をスピード感を持って進める。

### 通学路の安全確保は

**問** 大阪府北部を震源とする地震により女子児童が亡くなる事故が発生した。本市の学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保は大丈夫か。

各学校に自主点検を依頼

教育長 各学校に自主点検の依頼を行い、危険性のあるものについては、立入禁止の措置や近寄らないなどの指導を徹底するよう指示した。特に早急な対応が必要と判断したものについては専決処分措置してもらった。

### バイオガス事業について

**問** 北海道鹿追町にある、国内最大級の家畜ふん尿処理施設から製造されるエネルギーの一日の発電量は、一般家庭450戸分の電気使用量に相当し、バイオガスを化石燃料の代替として使用することでCO2をはじめとする温室効果ガスが削減され、処理過程で生産される消化液は高品質の有機肥料

料となり、年間約3万tが農家に還元されている。家畜ふん尿の悪臭対策や環境の改善も図られ、余剰熱は売電の他、新たな事業にも結び付き、地域経済の活性化、新たな雇用を創出し、見事な循環型社会を形成している。畜産基地としての本市特有のバイオガスプラントの活用に取り組み考えはないか。

総合的に調査・研究する

市長 鹿追町では、バイオガスエネルギーの利用や雇用の創出などに貢献していると聞いているので、今後、総合的に調査・研究を行う。

### 現場に行き見届け判断を

**問** バイオガスプラントの活用については、いろいろな方法があると思うので、総合的に研究をして欲しい。実地・現地を大事にする市長なので、ぜひ現場に行き見届け、総合的にどういう方法でやれるのか少し時間をかけて判断してもらいたい。

### 現場視察を行うこと

市長 私は現場主義であり、現場を見て取り組みをしていく考えなので、本市で実施した場合、それぞれの良い所で、どの施設が活用できるのかも含め、現場の視察をしていきたい。

### 中心市街地の活性化策は

**問** 中心市街地の活性化に向けた本市の今後の方向性について、活性化のための庁内の人的体制と基本計画の作成、駅周辺の整備、空き家・空き地・空き店舗対策、商店街の無電柱化等について問う。

先進事例を調査する

市長 駅周辺の整備、空き家・空き地・空き店舗対策、商店街の無電柱化等について、現在それぞれ部署が連携した職員体制の中で具体的に取り組んでいる。中心市街地活性化基本計画を策定し、有利な補助事業等を導入している先進事例もあるので、具体的に調査する。

### 食品ロス対策について

**問** 一昨年の6月定例会で食品ロス対策について質問したが、その後の食品ロス削減対策へ向けた取り組みの現状と、周知徹底を提案した「30・10」(30・10)のさらなる推進について問う。

食品ロスを呼び掛ける

市長 10月30日は「食品ロス削減の日」全国一斉アピール日なので、10月広報紙への掲載及び当日の告知放送などを行い、家庭や宴会での食品ロス削減及び30・10運動を呼び掛ける。

教育長 現在、小学校では各教科や特別活動給食指導で、食品ロス削減につながる取り組みを行い、中学校では家庭科の学習で「食品ロス」という用語を用い、日本での食品廃棄量が飢餓に苦しむ世界中の人々に向けた世界の食糧援助量を上回っているという深刻な事態であることを学んでいる。



野村 議員



動画視聴

# 志布志港の経済効果は

## ▼税収7億5000万円

**野村広志議員** 近年益々その可能性についての注目が高まる志布志港であるが、本市における経済波及効果はどのように分析しているのか。

恩恵を受けている

市長 港湾の企業に関して全容の把握はできていない。また、経済波及効果も算出は難しいが、税収については適時に把握



海外輸出入風景

している。法人住民税額約1億300万円、個人住民税額約1億6800万円、固定資産税額約4億3400万円、軽自動車税額約80万円、特別

とん譲与税約5000万円、前調査した平成26年度と比較して、約36%の税収額の伸びであり直接的にも恩恵を受けている。

志布志港の位置付けは

**問** 九州で唯一の国際バブル戦略港湾の指定を受けた志布志港の位置付けや目的について、国や県の考えを寄せ。

飼料供給基地

市長 飼料原料の安定的かつ安価な供給体制の構築を目的としている。また、南九州地域における畜産業の国際競争力の強

化や、雇用と所得の維持・創出を図る役割を目的としている。

輸出促進

ビジョンについて

**問** 県が作成した農林水産物輸出促進ビジョンの中の、「つくる」「あつめる」「はこぶ」「うる」の三つの要素について、本市にとり、大きな可能性を強く感じている。そこで、ビジョン発表後、県と輸出に向けた何らかの協議はなされたのか。また、港湾を持つ地元自治体として、積極的に取り組む姿勢や方向性を示すべきではないか。

市長 本ビジョンの推進体制については、品目ごとに各組織団体が部会員として構成されている。

県と連携して

市長 「売れる作物」については輸出先の販売業者の意向が重要であり、十分に調査する必要がある。

輸出先の意向が重要

**問** 農林水産物輸出を念頭に置き「売れる作物をつくる」視点で考えたときに、どのような作物があるのか。

輸出品目で

「売れる作物」について

市長 「輸出促進ビジョン」を基本としながら、県とも連携していきたい。

また、「つくる」視点で見れば、本市は温暖な気候と豊かな農地に畑かんが整備され、適時に適量の作物を生産する事ができる。海外の農薬基準等を考慮した生産体制の確立がなされれば、どのような作物でも生産できると考えている。

「志布志米」米粉のブランド化を

**問** 欧米では小麦アレルギーの原因となる「グルテン」を含まない食品の市場規模が、急激に伸びている。日本の米粉は微細粉で溶けやすく、パンやパスタ、菓子類の原料として用途も多く、輸出品目として国も期待している。健康食材として、志布志米・米粉で、ブランド化を図り、輸出への取り組みを進める考えはないか。



可能性の高まる志布志港

先取りして  
取り組みたい

市長 米粉は、今後輸出の拡大が期待される品目として位置付けられているため興味がある。県の動向等を注視しながら輸出に向けた動きとなつたら、市としても先取りした形で取り組みを進めたい。



# 郷土芸能の保存・継承は



小辻 議員



▲動画視聴

## ▶ 継続的に進める

**小辻一海議員** 市内の郷土芸能・祭りが各地で無くなりつつある。地域の現状をどのように捉えているか。

市長 各保存会でもメンバーの高齢化が進み、後継者育成が課題となっている。合併後、これらの郷土芸能等の保存・継承を促進するため、志布志市民俗芸能等保存会連絡協議会を組織し、それらの保存会活動を支援する目的で加盟団体に対して、保存活動の運営費補助金を支給している。また、市民の方々への活動成果の機会をできる限り多く確保するため、民俗芸能大会を開催し、現状維持に努めている。

教育長 地域の生活に密着したもので、高齢化や人口減少などの社会的情勢の中では厳しい部分もあるとは思われる。地域で誕生し、伝承され続けてきた文化遺産を、できる限り後世に存続させる努力も我々の使命だと考えている。今後、平成25年度策定の指定候補文化

財一覧の実態調査を踏まえ、保存会の把握などを継続的に進めていきたい。

### 集落単位での郷土芸能の現状は

**問** 民俗芸能大会に参加しなかった集落単位など小さな集団で、郷土芸能や祭りに関しての継承は、現状どのようになっているか。

### 実態把握に努める

教育長 伝統芸能を継続していくために、実態調査というのが基本に立つ。十分な実態調査など積極的に努め把握した上で、



田之浦ダゴ祭りで田の神舞を継承

対策を考えていく。

### 評価・検証した補助金の考えは

**問** 太鼓や笛、衣装など、道具になるとお金がかかり、コミュニティ助成事業を申請しても、なかなか交付対象にならず、申請を断念されたところもある。このように多くの課題を抱えながら保存継承に取り組まれる団体等を評価・検証して、活動補助金を検討する考えはないか。

### 基準を設けて対応

市長 使っている太鼓や笛、衣装など、道具にかかる備品購入の支援が、保存につながっていくことであれば、公平な支給の在り方も考え、何らかの基準を設けて対応していきたい。

### 進捗状況と今後の見通しは

**問** 歴史のまちづくり事業の現在の進捗状況と、今後の見通しを示せ。

### 利活用を洗い出し年次的に整備

市長 魅力ある観光地づくり事業を活用した麓地区及び小西地区の駐輪駐車場、宝満寺公園の整備などを行っている。平成25年度から志布志城跡、志布志麓庭園、山中氏邸の事業を段階的に整理しているところで、今後実現可能な歴史遺産について、利活用を洗い出しながら年次的に整備していく。

### ダグリ岬周辺の整備は

**問** ダグリ岬周辺一帯をどのように整備していく考えか。

### ダグリ岬公園周辺整備基本計画を基に整備

市長 ダグリ岬公園周辺整備基本計画を基に、費用対効果を検証する。一方で整備後の維持管理に要する費用なども十分考慮し、整備を進める。



夕涼みの中、駅前ではぽっぽマルシェ

### 駅舎等整備の取り組みは

**問** 駅前周辺と上町商店街をあわせた市街地活性化とJR日南線の動向を見極め、10年・20年先のまちづくり全体を考えたJR志布志駅舎等整備事業に取り組むべきではないか。

### 将来を見据えた駅舎等整備事業に取り組む

市長 市街地と志布志駅周辺の連携、都城志布志道路、東九州自動車道、港など将来を見据えた駅舎等整備事業に取り組む。



岩根 議員



動画  
視聴

# ハーフインターの名称を提案する考えは

## ▼本市主導で進める

岩根賢二議員 2020

年に供用開始予定のハーフインターは、仮称「志布志有明インター」となっているが、本市独自の名称を提案する考えはないか。

市長 現在、国・県・地元関係市町村で「東九州自動車道関連事務者連絡調整会議」を行っており、インターチェンジの名称や案内標識、道路情報版の内容、設置位置についての協議を、こちらから進めていきたいと考えている。

### 「野井倉」はどうか

問 設置予定箇所は野井倉開田の真ん中に位置するため、「野井倉インター」という名称にすると分かりやすいのではないか。

### 関係機関と協議

市長 「野井倉インター」が良いかどうかは決めかねる。名称については、仮称案を基に関係機関と協議していきたい。



ハーフインター建設予定地付近

### 運転免許証自主返納支援 事業内容の見直しを

問 現在、運転免許証自主返納者に交付されているタクシー券の利用率は何か。また、タクシー券以外の効果的な支援策はないか。

### 選択肢を広げる

市長 交付件数は毎年増加しているが、利用率は40%程度である。商品券や他の利用しやすい取り組み等、選択できるものにしていきたい。

### 公共交通機関の 整備を急げ

問 免許証を返納できない理由の一つに、公共交通機関の未整備がある。整備を急ぐべきではないか。

### 今年度中に計画を策定

企画政策課長 本年8月に実施したアンケート調査の内容も参考に、本市にふさわしい交通網の在り方について、今年度、地域公共交通網形成計画を策定したい。

### 本庁舎移転検討委員会の 協議項目は

問 本庁舎移転検討委員会は、5月に設置以降、どのような項目を協議してきたのか。

### 基本的な考え方を整理

市長 管理部門の優先的な移転や市民サービスの向上を踏まえた配置計画、短期・中期・長期の視点に立った段階的な移転など、移転に関する基本的な考え方を整理し、想定される課題の抽出や移転スケジュール、移転手法などを協議している。

### 移転の時期は

問 いつ頃を目途に移転する考えか。

### 基本方針策定後になる

市長 現時点では明確な移転時期は示せない。基本方針を策定後、議会への報告、まちづくり委員会及び市民向け説明会の開催、条例改正、予算の提案を行う予定である。議会での議決後、庁舎改修、各種事務手続きを進め、全ての移転完了後、本庁舎業務開始となる。市民サービスに支障をきたさぬよう、十分な周知期間も設ける。

### 市民への説明会を早期に

問 市民の中には「自分の意見を聞いてから進めて欲しい。そのためにも早期に説明会を開催してもらいたい」という声があるが、その考えはないか。

### あくまでも

### 基本方針決定後に

市長 具体的な計画方針決定後、方向性がしつかり決まった段階で、市民には説明していく。どのような形で行うかについては、今後、本庁舎移転検討委員会とも協議しながら進めていきたい。



市役所志布志支所庁舎



議員 尖



動画視聴

# 防災訓練が行事化しているのでは

## ▶ 前向きに検討する

**尖一議員** 防災訓練は、より現実に即した訓練をすべきではないか。

市長 基本的なことのみに想定し実施する。ブラインド型訓練も考えている。

### 災害発生時の指揮権は

問 仮に、市長は東京出張中、副市長は曾於市で会議中に震度6の地震が発生し、3分後に津波警報、電話は不通であるとした場合、指揮権は誰にあるか。

市長にある

市長 市長にある。

問 市長との電話が不通であった場合はどうか。

市長 副市長が総括する。

問 副市長は曾於市で会議中であるが、指揮できるのか。

副市長 両氏が不在の場合は教育長が指揮者で、危機管理監が対応する。

問 これが現実である。昼夜問わず、予告なしの訓練で、さまざまな課題が検証できる。現実に則した訓練を実施すべきと考えるがどうか。

市長 避難訓練は毎年実施している。さまざまな訓練を実施するべきと考えている。

### 他の自治体と相互協力関係を築けないか

問 ここ数年自治体間で災害協定を結び、相互間で迅速な支援を行っている。本市で「さんふらわあ」を利用した協定を関西の自治体と結ぶことで、大量の物資や人員の相互支援ができるのではないか。

### 前向きに検討する

市長 陸路の場合は道路遮断が想定されるので、どのような取り組みができるか前向きに検討する。

### 観光特産品協会の在り方について

問 一般社団法人志布志

市観光特産品協会は、本市にとってどのような位置付けか。

本市と一体となり運営

市長 市の観光・特産品振興を担う中核組織であり、市と一体となり相互的に連携している。

### 株式会社化しさらなる発展を図れ

問 ふるさと納税で市の委託業務を担ってはいるが、独自の事業は拡大していない。株式会社組織変更し、旅行業一種免許を取得し、さらなる事業展開で若者の有望な就職先にもなるのではないか。

### 協会と協議しつつ

市長 県下でも事例があり、協会と研究を進める。

### 返礼品の出荷要員の給与水準は適正か

問 ふるさと納税の返礼品業務を担っている出荷要員は、超短期の雇用の

うえ、かなり重労働である。しかし給与は最低賃金に近い。超短期の場合の給与は見直すべきではないか。

### 協会と協議しつつ

市長 協会と協議し、そのようにしていきたい。

### 総合アドバイザーへの支出は適正か

問 協会の決算書に総合アドバイザーとして、974万円余りが支出計上してあるが、どのような内容か。

港湾商工課長 職員では対応できない部分について、全国的に人脈もある観点から、アドバイスをいただいている。

### 志布志山城の再興を図れ

問 黎明館に志布志山城の模型がある。県下でも貴重な存在である志布志山城の内の一っただけでも、ふるさと納税を利用して、超短期間で再興できないか。

15年かけて整備する

市長 志布志城跡保存整備基本計画により、15年かけて整備を進めている。

### 他の観光手段との連携を

問 「さんふらわあ」新造船の就航も整い、滞在型観光客増加の絶好の機会ができた。山城を早期に再興し、日南線とも連携し、観光客増を図るべきと考えるがどうか。

### 現況に良さがある

市長 これまで手を付けなかったことで名城に選ばれたと考えているが、国指定文化財でもあるため、今後十分に協議していく。



名城 100 選の志布志山城模型



丸山 議員



動画視聴

# 外来生物の大量発生 駆除へ向け取り組みべき

## 市報などを活用し適切な管理をお願いする

**丸山一議員** 近年、外来生物の大量発生が見られる。駆除に向け、取り組むべきではないか。

市長 市報などを活用し、市民へ啓発を行い、適切な管理をお願いしていく。

### ハリビユ（とげ草） 繁茂拡大の注意喚起を

**問** 35年程前より、輸入資材に入っていた外来生物ハリビユ（とげ草）が、近年、市内各地に広まってきた。市民への周知を徹底し、注意喚起すべきではないか。

### 外来種基本方針に基づき 対応していく

市長 県では、外来種基本方針が整備されており、その中で、市町村においては、管内の侵略的外来種の防除の実施等がうた

われているため、基本方針に基づき対応していく。



ハリビユ（とげ草）

### 市内全域のジャンボ タニンへの対応は

**問** 40年程前より、ジャンボタニン（スクミリンゴガイ）が広まり、現在では、ほぼ市内全域に繁殖区域が広がっている。市はどのように対応するのか。

### 市報等で周知する

市長 平成21・22年頃、市内各地で大量に発生した経緯もある。市報等で駆除方法等について周知を徹底していきたい。

### 技術員と協議している

農政畜産課長 安楽川から以西と有明地区全域に繁殖していることから、技術員と協議し、水路の田んぼへの水の取り入れ口にネット等を張るなどの対策を検討している。

### キオビエダシヤクへの 対応は

**問** 本年7月末頃、通山地区において、キオビエダシヤクが大量に確認された。素早い対応をお願いしたい。

### 市報等で周知する

市長 県外来種基本方針において、「本県の豊かな生物多様性の確保等、外来種による被害の防止のため、多様な主体が連携して外来種問題に取り組む」との行動指針もあることから、県とも連携し対応していく。

### アカミミガメへの対応は

**問** 菱田川河口から田尾橋付近まで、アカミミガメ（ミドリガメ）が大量に発生している。市はどのように対応するのか。

### 外来種基本方針に基づき 対応していく

市長 県外来種基本方針において、「本県の豊かな生物多様性の確保等、外来種による被害の防止のため、多様な主体が連携して外来種問題に取り組む」との行動指針もあることから、県とも連携し対応していく。

### 市内学校施設の 調査とその対応は

**問** 地震により、大阪市内の小学校敷地のブロック塀が倒壊し、小学生が犠牲になるとい痛まし

既に措置を講じた。  
生活関連道路の対応は

**問** 市内の国道や市道といった生活関連道路沿いのブロック塀等は、万が一の場合、市民の生命に直結するため、調査すべきではないか。

### できるだけ早く 調査を実施する

市長 国土交通省からも6月21日付けで安全点検等に関する通知があった。できるだけ早く調査等を実施し、対応していきたい。

### その他教育関連施設の 対応は

**問** その他の教育委員会が所管する関連施設については、どのような対応を行っているのか。

### すでに調査済である

市長 社会教育施設・文化施設及びスポーツ施設等調査済であり、そのうち、山中氏邸については、



危険と思われるブロック塀



南 議員



▶ 動画視聴

# オール志布志で元気なまちづくりを

## ▶ 関係機関と連携し全力で取り組む

**南利尋議員** 多くの自治会で、高齢化・過疎化が進み、自治会単位での環境保全活動ができない地域が数多くみられる。これからの環境保全をどのように考えているか。

**市長** 自治会の共生協働による地域活動の一環として、環境保全にも努めていただいている。今後無理なく、できる範囲で作業していただければと考えている。

**2回目以降にも報奨金を**  
**問** 現在、地元自治会における環境保全活動には、年1回の報奨金が支給されている。燃料費やお茶代等、2回目は半額、3回目は3割といった報奨金の追加支給はできないのか。

**十分検討している**  
**市長** 2回目以降の報奨金支払いについて、内部で十分検討していきたい。



環境保全活動のようす

### 港湾地区の安全対策は

**問** 先日、港湾地区において交通死亡事故が発生した。関係機関と連携した安全対策が必要ではないか。

**安全対策に努める**  
**市長** 事故発生後、警察署等と現場診断を実施した。さまざまな意見を参考に関係機関と連携し、安全対策に努めていく。

### 市駐輪駐車場の安全確保を

**問** 駅前の市駐輪駐車場において資源ごみ収集が

行われているが、その際人や車が頻繁に行き交っている。安全対策は万全か。

### 根本から検討している

**市長** 指定時間外に家庭ごみを搬入する方もいるため、場所や集合収集のあり方も含め、根本的な検討を行っていく。

### 防犯カメラの設置を

**問** 全国で事件や事故が発生した際の防犯カメラの役割が重要になっている。設置箇所は増やせないか。

### 調査・研究している

**市長** 現在、市としては防災用として11台のカメラを設置している。設置することにより、安全で安心なまちづくりにつながるよう調査・研究していく。

### ダブリ岬周辺の環境整備を

**問** ダブリ岬周辺にある旧志布志パラダイス跡の

廃墟撤去を行うべきではないか。

### 適切な管理を

### お願いしている

**市長** 施設の所有者等に対し、適切な管理をお願いしていく。

### 港をライトアップし新たな観光地へ

**問** 国際バルク戦略港にも指定された志布志港をライトアップし、新たな観光地として整備してはどうか。

### 協議が必要である

**市長** ライトアップに関しては、関連する企業の業務等への影響が懸念されるため、協議が必要となる。基本的には観光振興計画に基づき整備していく。

### ほんわかツアーの検討を

**問** 本市に昔から在る地元可愛された既存の施設等と、さんふらわあ新造船とをタイアップし、ほ

んわかするようなツアーは考えられないか。

### 体験メニューの充実を図る

### 充実を図る

**市長** 田舎らしさを十分に発揮できる民宿をはじめ、市内温泉を巡るツアー等、体験メニューの充実を図っていきたい。

### 若者との意見交換を

**問** 元気なまちづくりに、若者の移住・定住が不可欠である。若者の意見を聞き、施策の参考にしようという仕組みづくりに取り組む考えはないか。

### 多様な意見を聞く

**市長** 市民と話す場としては、ふれあい移動市長室があるが、若者をはじめ、多様な意見を聞き、施策に反映させ、魅力あるまちづくりが進むよう、全職員で取り組みたい。

# 有害鳥獣対策の充実を

## ▼狩猟免許取得案内等の周知に取り組む



久井 議員



動画視聴

**久井仁貴議員** 有害鳥獣による被害は4つの意味で深刻である。まず1つ目は、農産物への被害額が大きい。2つ目は、被害にあった農家は、長い期間にわたり育てた作物を一日で失い、精神的に大きなダメージを受ける。それにより農業従事者の離農につながり、それが耕作放棄地増加という結果を招いている。



イノシシの被害にあった畑

3つ目は、耕作放棄地の増加が有害鳥獣の生息地域となり、さらなる鳥獣被害を招くという悪循環を生じさせている。そして4つ目は、本市の一次産業就業者数は、全国平均と比較して5倍以上あり、多くの農業従事者に影響がある。そこで本市の有害鳥獣対策を示せ。

市長 有害鳥獣の一般捕獲についての説明や狩猟免許試験の案内等の周知に取り組んでいく。

### ハンター確保の取り組みを

**問** 捕獲経費がかかり過ぎ、収入より支出の方が多し。本市のハンター確保への取り組みはどうしていくのか。

**内部で調査研究する**  
市長 内部で調査研究する。

### 公務員ハンターの導入を

**問** 被害が発生したときに、迅速に対応できる体制を整えることも重要である。そのためいつでも迅速に対応できる公務員ハンターを本市の専門職員として採用する考えはないか。

### 調査研究する

市長 調査研究する。

**本市図書館内で個人所有のパソコンが使用できる専用のスペースを**

**問** 現在、市立図書館は個人のパソコンを持ち込める専用のスペースを確保していない。

市立図書館の有効活用と市民生活の利便性向上、ICTの充実・活用のために個人所有のパソコンを使用できるスペースを確保する考えはないか。

### 今のところ考えていない

教育長 専用の使用スペースはないが、公開用のパソコンスペースを利用していただくか、志ふれあい交流館に案内している。

### 学習環境が整っていない

**問** 公開用のパソコンスペースは、子どもの利用が多く、集中して学習できない。また、志ふれあい交流館は、交流をする目的で造られているため、人の交流が多く集中してパソコン学習はできないと思うがどうか。

市民の声が増えれば検討する

### 市民の声が増えれば検討する

教育長 さらにパソコンを持ち込みたいという市民の声が増えれば、検討する。

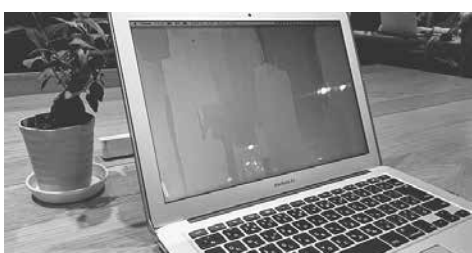
### よりよい図書館環境を

**問** 個人所有のパソコンの使用を望むという声も多くあると思うが、そのような要望にも耳を傾けるべきではないか。図書館は知識の源である。市民が知識を習得したいという思いを実現するために、よりよい図書館環境とは何かに思いを巡らせ、図書館も成長していくべきと考えるがどうか。

よりよい環境づくりは必要だ

市長 環境づくりは必要だと思う。どこにスペースを確保できるのか、今後検討していく。

教育長 環境づくりに努力していく。



パソコンを持ち込める学習環境



平野 議員



▲動画視聴

# 地域の取り組みにバックアップを

## ▶取り組んでいきたい

**平野 栄作 議員** 各地域で個々の課題解決に向けた取り組みを行うことがコミュニティの活性化につながっていくと思う。その取り組みが、定住策または人口増、コミュニティの活性化等に非常に貢献度が高いということになった時に、市がバックアップする体制の整備が必要ではないか。

**市長** 地域の魅力を活かすためには、地域の人たちが一番動いてもらわなければならぬし、一番理解していると思う。各地区での要望が取り入れられるような、体制をつくる必要があると思うので、内部で十分検討し、ぜひ取り組んでいきたい。

### ポイ捨て防止条例の見直しは

**問** ポイ捨て防止条例施行後10年が経過するが、ポイ捨ては改善されていないと思う。事業所の責務等についても条例の見直し等を行い、具体性を持たせる取り組みも必要と感じる。神奈川県相模原



ポイ捨てごみの状況①

市の条例では、企業の責務を具体的に掲げ、さらにポイ捨て箇所重点対策地区を設定して取り組んでいるようである。より市民の意識を啓発する内容とすべきではないか。

### 内部で検討する

**市長** より分かりやすく具体的な内容となつていく条例を設置することで、理解が得られるというふうに感じたので、内部で十分検討して対応していきたい。



ポイ捨てごみの状況②

### 自宅近くへの搬入は

**問** 高齢化等の背景もあり、ごみ問題についても見直しが必要と感じる。特に、ごみ出しについて

は、自治会単位で指定されている場所が遠方となるケースもある。衛生自治会の会員とらえると、自宅から一番近いごみステーションへの搬入も可能と考えるが、今後検討すべきではないか。

### ひとつの考え方

**市長** 衛生自治会や各自治会の取り組みがあるの、十分検討する必要があるが、ひとつの考え方ではある。

### 開田の村管理組合のNPO法人化は

**問** 公共施設の指定管理者は、特定非営利活動法人(NPO法人)・株式会社・有限会社・公益社団法人・社会福祉法人等で運営されているが、開田の村管理組合は、合併後も変わらず管理組合方式である。民間の能力を活用するという観点からNPO法人化等も必要だと思ふが。

### 取り組んでいきたい

**市長** NPO法人化については、平成27年度に検討された経緯がある。設立当初、事務局が教育委員会で職員が派遣されていたことや、事業そのものが青少年教育・生涯学習など、教育的事業が主で、行政と密接な連携が必要なことから、これまでこのような組織体制で運営されてきている。私としては、今後見直しを行いたい、運営委員会が設置されているので、意見を聞いて、できるだけ早く取り組んでいきたい。



有明農業歴史資料館



八代 議員



動画  
視聴

# 進出企業数は

## ▼27年度から13件

**八代誠議員** ここ数年における、進出企業数及び新規雇用者数の実績を示せ。

市長 人口減少と地域経済縮小克服を目指し、取り組んできた。立地協定を行った進出企業数及び工場等増設数は、平成27年度から今年度まで13件。新規雇用者数は256人となっている。

### 目標達成は可能か

**問** 本市創生戦略では、新規雇用者創出数についての目標を、平成31年度までに550人としている。目標達成は可能だと見込んでいるのか。

### 可能だと考える

市長 志布志港、東九州自動車道及び都城志布志道路の整備が進み、安

楽大迫工業団地や港湾関連用地等が分譲されれば、進出企業による、更なる雇用の創出が見込まれる。目標値の達成は可能であると考ええる。

### 雇用に対する需要と供給のバランス

**問** 本市における雇用創出数と就業数のバランスについて、現状、5年後、10年後をどのように分析しているか。

### 人手不足は今後も続く

市長 現状の雇用創出数と就業数のバランスは、均衡が取れていない状況である。今後の見通しは、経済動向もあるが、本市の生産年齢人口の推計人口動態から考えても、人手不足の状態は今後も続くこと予想している。

### 最低賃金や市職員の給与水準に対する見解は

**問** 県の最低賃金は全国で最低である。また、市職員の給与水準を示す※ラスパイレス指数は近隣自治体に比べて低い。私はこの数字については残念だと考えるが、市長の率直な見解を示せ。

### 所得向上に努める

市長 最低賃金が全国最下位であるということは、大変残念である。今後さまざまな事業を実施することで、市民の所得向上につながるよう努める。本市のラスパイレス指数については、高い数値ではないと考える。

### プロジェクトは

### 立ち上がったのか

**問** 施政方針では、人口

4万人目標に対して移住交流の仕組みづくりを検討するプロジェクトづくりに取り組むとあったが、このプロジェクトは立ち上がったのか。

### 準備作業を行っている

市長 移住定住を最終目標とした観光やスポーツ合宿等で訪れる方や、過去に勤務あるいは居住されていた方、ふるさと納税寄附者の方々などを対象とした交流人口・関係人口を増やして、移住定住につなげていこうとするものである。現在、立ち上げに向け情報収集等の準備作業を行っている。

### 雇用特区の提案は

**問** 人手不足が深刻化していく中、国に対して外国人実習生を受け入れられる職種の拡大という意

味での本市のプロジェクトとして、雇用特区を申請する考えはないか。

### 調査・研究していく

市長 国策に依存する部分もあるが、活用できる施策については積極的に活用していきたい。どんな国籍の方であろうと、働いてみたいと思っただけのようなまちづくりが重要であると認識している。労働力の確保に資する策として、調査・研究をしていきたい。

### 外国人の移住定住を推進する考えはないか

**問** 人口減少は、喫緊の課題である。外国人を労働者として受け入れるだけでなく、移住定住できるようになまちづくりはできないか。市長が提案するプロジェクトにおいて、

※多文化共生を積極的に推進すべく、調査・研究・検討すべきだと考えるが。

### 調査・研究を進める

市長 多文化共生については、今後、本市が進める新しいプロジェクトにおける人口減少対策の検討課題として調査・研究を重ねていきたい。



農作業に精を出す研修生

※ラスパイレス指数  
国家公務員と地方公務員の基本給与額を比較する指数。

※多文化共生  
(たぶんかきょうせい)  
国籍等異なる人々が共に生きていくこと。





持留 議員



▶ 動画視聴

# 茶業振興への支援策は

## ▶ 消費拡大へ向け市民と生産者が一体となり取り組む

**持留忠義議員** 志布志市は全国的にも茶の産地として長い歴史を重ねているが、ここ数年、茶の価格は低迷を続けている。平成29年においては、茶の生産額は、前年比115%と良かったものの、緑茶の販売額については消費の停滞など、依然として厳しい状況にある。そのような中、本市におけるリーフ茶・ドリンク類・インスタントティ・てん茶・発酵系茶について、どのような現状認識を持っているか。また、その支援策は。

**市長** 茶業情勢については、急須で飲むリーフ茶の消費低迷により、荒茶単価が軟調傾向であるため、大変厳しい状況であると認識している。市内各生産者は、リーフ用茶葉から需要の高いペットボトル用茶葉への転換や海外での需要が高く収益性の高い加工用抹茶原料のてん茶の生産等、需要に応じた取り組みが行われている。市としては、生産コスト低減対策としての国庫事業等を活用し

た茶園管理機械の導入等に取り組むとともに、本市産の茶に親しみ、その魅力を市内外に情報発信するため、志布志茶消費拡大促進事業を展開し、市民と生産者が一体となった消費拡大対策に取り組んでいく。

### 市単独での価格保証は

**問** 国・県におけるさまざまな補助事業等を活用し、市としても本市の基幹産業である茶業振興について、一定の取り組みを行っていることについては理解した。その上で、今後、茶価格の低迷に対し、市単独での価格保証制度を創設する考えはないか。

### 考えていない

**市長** 市単独での価格保証については考えていない。しかし、本市の基幹産業である茶業の振興については、現場での取り組みの在り方を注視したうえで、JA等関係機関と連携し、対策を講じる必要があると考えている。



茶の生葉投入の様子

### 繁殖農家戸数減少対策と肉用牛牛増頭対策は

**問** 黒毛和種の肉用牛の牛の価格については、飼養頭数の減少と良質な枝肉がたくさん取れることから、高値で取り引きされている。しかし、同時に飼料代や資材の高騰により、繁殖経営・肥育経営ともに生産にかかる費用が増大している。加えて、生産者の高齢化や後継者不足などの問題もあり、平成23年度には、市全体で770戸あった繁殖農家戸数が、平成27年度には、556戸に減少している。このことが飼

養頭数の減につながっているとされるが、繁殖農家戸数減少対策と肉用牛牛の増頭対策についてどうなっているか。

### 支援を継続する

**市長** 市内の肉用牛の現状については、繁殖牛農家が505戸、頭数が7062頭となっている。10年前からすると、戸数が469戸、頭数が1207頭減少しており、高齢化による廃業が原因と考えられる。近年、飼養頭数は増加傾向にあるが、資材の高騰や経済連携協定の発効など、予断を許さない状況にあることから、今後も、繁殖雌牛導入資金や高品質生産対策事業等により、導入の支援を継続して行っていく。

### 肉用牛肥育経営安定特別対策事業(牛マルキン)の補てん金の発動状況は

**問** 肉用専用種・交雑種・肉用種等が対象となる肉用牛肥育経営安定特別対策事業(牛マルキン)の

補てん金の発動状況は何か。

### 平成29年度で6回

**市長** 相場に影響を受けやすい肥育経営にとつて必要不可欠な制度である肉用牛肥育経営安定特別対策事業(牛マルキン)の補てん金については、平成29年度において、6回発動している。また、平成30年度において、4月・5月・6月に合わせて15万5300円発動しており、補てん率は9割となっている。



肥育中の鹿児島黒牛



鶴迫 議員



動画視聴

# 「終活」を公的に支援する事業の取り組みを

## 包括的に調査・研究する

鶴迫京子議員 団塊の世代が、高齢化による多死社会を迎える前に、死亡後、自治体が納骨など、人生の締めくくりを手助けする「終活」支援事業が広がっている。先進事例として、①神奈川

を開始している。葬祭事業者と協定を結び、地域包括支援センターが窓口となり、相談を受け付けている。病院や施設入所の際の身元保証、遺言信託、生前整理などの計画も可能である。③神奈川

会を迎え、避けて通れない課題であると認識している。先進地の状況等を踏まえ、包括的に調査・研究していく。

国際の森(陣岳)に水の設置を図り観光の目玉に

問 財源は、開始されたばかりのふるさと納税の使い道を特化して、国際の森に水の設置を図ることができないかと、平成20年の定例会で一般質問した。その際は、水の設置費用に4600万円かかるとの答弁で、10年が経過した。平成29年度寄附総額が30億円を越え、また市長も変わったので再度、この問題について問うが、国際の森をはじめとしたダグリ岬周辺を一体的に捉え、本市の観光の目玉として総合的に取り組む考えはないか。

水の設置についての検討結果は

問 10年前、商工観光戦略会議の中で、ダグリ岬周辺一帯の整備も含め観光をどうするかということについて提案・提言されるため、水の設置についても検討させて欲しいとの答弁だったが、検討結果はどうだったのか。

①②③の先進事例に倣い、本市でも、納骨までの公的支援事業に取り組む考えはないか。

市長 緊急時には、あらかじめ用意していた登録カードにより、関係機関に連絡が入り、迅速な伝達や葬儀の円滑な進行が実現される事業である。本市においても高齢化社

あらゆる角度から検討

市長 国際の森周辺は水道事業の給水区域外であり、水道事業で給水工事を行うことができず、また、工事は一般財源で市の財産扱いで行なうことになる。本管から高低差が250メートル、加圧施設を2か所設置すると、概算で2000万円かかる。さらに、延長が3kmあり、安価な水道ポリ管で施工しても4000万円かかる。維持費は、加圧施設2か所の電力料を年間約50万円と試算しており、仮に給水した場合、管の延長もなく使用水量も少ないため、水が腐食する懸念もある。そのため、衛生上管理できない水を偶然飲用し、健康被害等の事故が発生する恐れもある。国際の森の景観は、他の市に比較しても大変素晴らしい所だと感じており、水の設置については、あらゆる角度から検討していかねばならないと思っている。



国際の森にある手洗い施設



小園 議員



▶ 動画視聴

# 障がい者雇用水増し問題 どう受け止めたのか

## ▶ 誠に遺憾であり残念に思う

教育長 中央省庁や全国の公共団体で相次いだことは驚きと残念な思いである。今回の問題を重く

市長 民間企業には、法定雇用率が達成されない場合、納付金が課せられたり、企業名が公表というペナルティがあるが、国や地方自治体ではない。障がい者が雇用の機会を奪われたことは誠に遺憾である。民間企業の手本となるよう、改めて認識をした。本市の障がい者雇用率は2・84%である。民間は、対象事業所が19社あり、合計で61人が雇用されている。

小園義行議員 国における障がい者雇用の水増し問題が明らかになった。国の33機関で3460人水増しがされていた。障がい者雇用率の義務化が始まった1976年と同じ水準で雇用されていることを国が自ら証明している。この問題をどのように受け止めているか。あわせて、本市及び民間事業所の障がい者雇用の現状はどうか。



就職活動に励む障がい者

問 本市の障がい者雇用の在り方を考える時に、障がい者手帳を持っている・持っていないではなく、実際の状態を考え、本人もそのことを自認されていれば、障がい者として、採用の在り方もあるのではないか。

受け止め、差別を禁止し、就労の機会を広げ、有する能力を有効に発揮することができるよう、障がいに関係なく、希望や能力に応じて働ける環境づくりに努めていきたい。

### 実態に即した対応を

国・県に声をあげる

市長 国の通知に従い、障がい者手帳の確認を行うことになるが、手帳の有無だけで判断するのはなく、実態に即した制度となるよう、国や県に対して働きかけていく。

### 調査・研究する

市長 福祉課で県内の状況を調査し、75歳・77歳・80歳以上に2000円または3000円を支給した場合の人数及び支給額を試算し、市の政策調整会議で協議した報告を受けている。今後、支給金額・支給年齢・変更時期について、調査・研究していく。

敬老祝い金支給の見直しは

問 敬老祝い金は、感謝の心を届ける事業として、予算の範囲内で75歳以上の全ての人に支給した方が、効果が大きいと考えられる。見直しをする考えはないか。

### どう対応したのか

問 昨年12月議会で、パワハラやセクハラに関する質問をした。セクハラは、人権侵害であると同時に同性・異性に対する差別である。防止するには、社会的に弱い立場にある女性・男性のどちらにも、弱みにつけこむ行為を許さない規範意識を育てることが大事であると考える。セクハラ被害にあった人に対する窓口の対応や、第三者委員会への委託等、その後の対応について問う。

### 規定を改定した

市長 本年2月26日付けで、職場におけるハラスメント防止について通知を行い、4月23日付けで、セクハラ及びパワハラの相談窓口について、課長会で通知をした。4月18日付けで、職員が認識すべき事項、苦情相談への留意すべき事項を定めた「セクハラに関する指針」を通知し、4月27日付けで、セクハラの防止等に関する規定を改定し



男女共同参画研修会のようす

た。それにあわせ、市職員の懲戒処分等の指針改正も行い、懲戒処分がより一層厳正に行われるよう、セクハラ事案について、処分・量定を決定する処分基準を定めた。8月20日には、職場におけるハラスメント防止について通知をした。

この他に、  
・放課後等デイサービス  
・農業振興  
・LGBT（性的マイノリティ）について一般質問した。

## 広報等調査特別委員会 所掌事務調査

- 視察日  
8月28日～29日
- 視察先  
・市町村議会広報研修会  
・南日本新聞社
- 調査事項  
議会広報紙の編集について

## 「市町村議会 広報研修会」

住民が関心を持てる議会広報紙に必要なポイントとして、「定例会の焦点を示し、地域課題を共有すること」「重要案件は結果だけでなく、議決に至るプロセスを示すこと」「定例会以外の情報も充実させること」「住民参加の多様な機会と仕組みをつくること」「子育て世代・若年世代も共感できる広報をつくること」「広報紙と議会サイトをスマホでつなぐこと」の6つが必要であり、それに基づく紙面づくりを行う必要がある。

分かりやすい広報紙づ



市町村議会広報研修会

くりのためには、読み手の視点に立った紙面づくりを常に考え、写真一つを取っても、構図や角度、背景設定など、工夫と作り手側の意図が伝わる紙面づくりが必要である。

表紙や議案については、そのプロセスを分かりやすく一つにまとめ、「焦点」「争点」をクローズアップすることが重要である。

ともに、タイムラグをなるべく無くしスピーディな発行を心掛ける必要がある。

確実に、また、正確に情報を伝える部分と、関心を高められる紙面づくりの部分の両面を考慮し、本市の議会だより作成に努めていきたい。

## 「南日本新聞社 よむのび教室」

広報紙づくりのポイント等について、グループ



南日本新聞社での研修のようす①

ワーク形式にて、

○紙面の文章では、本当に自分が伝えたいことから、具体的に分かりやすく書いていくことが大切である。

○文章の基本である5W（いつ・どこで・誰が・なぜ・何を）3H（どのように・どれくらい・いくら）を常に意識し、簡潔な文章を作成することが全議員で共有することが重要である。

○紙面のレイアウトから、見出し、前文（リード）など、読み手のことを一番に考え、紙面づくりを行っていく必要がある。等、分かりやすい紙面づくりを研修した。



南日本新聞社での研修のようす②

## 12月定例会のお知らせ

- 3日（月）本会議（議案上程等）
- 19日（水）最終本会議（委員長報告等）

※日程については、変更になる場合があります。



**議会を傍聴してみませんか**

傍聴の手続きは、本庁3階にて「傍聴人受付簿」に住所と名前を記入していただくだけです。お気軽にお越しください。



# 市民と語る会

志布志市議会では、市政の課題等について、市民の皆さんと議員が意見交換を行う機会「市民と語る会」を実施します。

- 1 対象：市民の方で団体・グループ（概ね10人以上）
- 2 開催時期：平成31年1月中旬から2月中旬まで  
（都合により希望される日時にそえない場合があります。）
- 3 内容：あらかじめ提案されたテーマで意見交換を行います。  
なお、時間は1時間～1時間30分程度とします。
- 4 開催場所：原則、応募団体が希望される場所。
- 5 参加議員：1回の会につき、6～7人程度の議員が参加します。
- 6 応募方法：まずは、市議会事務局へご相談ください。
- 7 応募期日：開催希望日の1か月前までにお申し込みください。
- 8 その他：開催については、議会で協議し決定します。ご連絡いただいたテーマの内容、開催日時によっては、お受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
実施すると決定した場合、日時や内容について、再度打ち合わせをさせていただきます。

<問合せ先>

志布志市議会事務局

Tel 099-474-1111 (内線 312・313)

Mail [gikai@city.shibushi.lg.jp](mailto:gikai@city.shibushi.lg.jp)



昭和41年に国民の祝日として敬老の日が制定されて52年を迎えた。今年の敬老の日は9月17日で市内では各校区において、さまざまな形で敬老行事が行われている。ちなみに私の校区では、地区公民館に70歳以上の方を招き、保育園・小学校・婦人会等、多くの個人や団体等の催し・余興で盛り上がる。

長寿を祝福し、敬老の意を表する場として、ささやかではあるが、校区をあげてお祝いをする。来られた方々が「良かった、良かった。」と喜んでいただく姿を目にする時、これからもずっと続いてもらいたいものだと思う。

厚生労働省が公表した日本の平均寿命は、女性87・26歳、男性は80・09歳で、男女とも過去最高を更新したそうである。その要因としては、健康意識の高まりと医療技術の進歩で

## 議員控室 「敬老の日」 福重彰史

あり、今後も寿命は延びると言われている。かつて、ある財界の長老が「50・60は鼻垂れ小僧、70・80働き盛り」と申したことも\*荒唐無稽なこととは思えない気がする。大正・昭和・平成そして戦前・戦後と、激動の中を力強く生き抜いてこられ、現在の繁栄した日本や地域を築いてこられた方々の貴重な経験と知恵を本市の発展のために、社会構成の重要な一員として、

ご示唆いただきたいと思う。そのためには、何よりもまずは、健康長寿でありますことをお祈り申し上げます。そして来年は新しい元号のもと、敬老の日を楽しんでもらいたい。

※荒唐無稽(こうとうむけい) 言動に根拠がなく、現実味のないこと。

## どうぞ傍聴席へ 次回定例会は12月です



- ◎開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。また、当日の午後8時から録画再放送もあります。
- ◎インターネットでもライブ中継と録画中継を公開しています。志布志市ホームページからご覧ください。

志布志市トップページ>>志布志市議会>>議会議中継>>議会中継へ

## 編集後記

南利尋



猛暑の疲れも取れないうちに、寒暖差の激しい晩秋を迎えています。体調管理は大丈夫ですか。

ぜひ、志布志で採れた自然の恵みを用いて、味覚の秋を楽しみながら、スポーツの秋にもチャレンジし、皆さんで元気な年末を迎えたいものです。

本年の第3回(9月)定例会も終了しました。議会議中継後、ある市民の方から「最近、議会議中継を見なくなりました。一般質問の内容は、難しいことを分かりやすく、簡単なことは簡潔にしないといけない。市民は大事な時間を割いて見ているのだから。」と貴重なご意見をいただきました。

このような市民の声を大事に一般質問に心がけ、議会議中継とともに、この議会だよりでも発信し、一人でも多くの方に愛読いただけるよう、発行に努めてまいります。



広報等調査  
特別委員会

委員長 市ヶ谷 孝  
副委員長 ○南 利尋

委員 久井 仁貴  
尖井 信一  
野村 広志  
平野 栄作

発行責任者

志布志市議会議長

西江園 明